3/12（木）

創世記四六章

約束の地を離れて

私は神、あなたの父の神である。エジプトへ下ることを恐れてはならない。私はそこであなたを大いなる国民とする。私はあなたと共にエジプトへ下り、また必ずあなたを導き上る。（3、4）

息子ヨセフがエジプトの大臣になっているという驚きの知らせを聞いたヤコブは重い腰を上げてエジプトに移住します。イスラエルの最南端の地ベエル・シェバに来ると、ヤコブは祭壇を築いて礼拝を献げました。そこはかつて祖父アブラハム、父イサクが礼拝を献げた地でした。ヤコブの心の中には一つの迷いがありました。本当にこの地を離れてもいいのだろうかと。そのヤコブの迷いに主が答えられたのが今日の聖句です。約束の地を離れてエジプトに下ることが神の御心でした。しかも、主が一緒に行ってくださるというのです。そしていつの日か必ず、彼らをカナンの地に連れ戻してくださると。ヤコブは安心してエジプトに向かいました。進むべき道に悩むとき、主の御心を尋ねようではありませんか。主が共に行ってくださる地こそ、私たちにとって乳と蜜との流れる地となるのです。